

第3回

市民会館の整備検討懇談会

令和元年10月29日

観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室

目 次

- | | | | |
|---|----------------|-------|----|
| 1 | 名古屋市の上位計画について | ・ ・ ・ | 1 |
| 2 | 新たな劇場の方向性について | ・ ・ ・ | 7 |
| 3 | 新たな劇場が目指す姿について | ・ ・ ・ | 18 |

1 名古屋市の上位計画について

1 名古屋市の上位計画について

(1) 名古屋市文化振興計画2020

①本市の文化芸術の課題

ア) 文化行政全般

グローバル化、情報化による産業構造の変化、少子高齢化の進展などの社会変化や地域社会の課題への対応の必要性が高まっており、戦略的な文化行政の推進が必要

イ) 都市魅力の創造・発信

文化芸術の首都圏一極集中が続き、市内在住の芸術家数が減少しており、創造活動を支援する人材の育成や交流拠点の整備など創造的な活動環境づくりに向けた名古屋らしい文化芸術の創造と文化情報の効果的な発信が必要

ウ) 文化力の活用

文化の持つ力を観光、産業、福祉、教育、地域コミュニティ等の分野に活用するため人材・ネットワーク・ノウハウの蓄積と文化芸術の活用をコーディネートする人材の育成が急務

エ) 文化の基盤づくり

芸術家の活躍の場の伸び悩みや習い事などの存立基盤の変化といった文化芸術に携わる人たちを取り巻く環境を改善し、本市の文化基盤を高める好循環の創出が必要

オ) 文化施設

本市の文化施設の利用率は非常に高く、劇場法が求める創造的な企画事業を手掛けるための劇場確保や予算を含めた体制整備が不十分であり、施設の設置目的の効果的な達成が難しい

カ) 連携と推進体制

近年の文化芸術施策は文化芸術活動がもたらす効果への間接支援に移行しつつあり、芸術家の取り組みやその作品の意図を市民にわかりやすく伝えるため、芸術家と市民、企業などを結ぶコーディネーターの存在が重要

1 名古屋市の上位計画について

(1) 名古屋市文化振興計画2020

②文化振興の基本的な考え方

ア) 都市魅力（都市の魅力の創造・発信）

a) 新進芸術家などの創造活動の支援

芸術創造センターや青少年文化センターをはじめとする文化施設は芸術創造の場として以下の創造事業に取り組む

- ・ 未知数の可能性のある若手芸術家やクリエイターに創作や発表などの機会を提供する
- ・ 公募による国内外の作品の募集・表彰に取り組む
- ・ 地元の様々な芸術家による団体やジャンルの枠を超えた協同による作品制作
- ・ 都市間の交流を促す作品発表の支援

b) 国内外から注目される文化芸術活動の創造・発信

圏域を代表する都市として全国レベル・世界レベルで活躍する芸術家・団体などによる都市魅力の資源となる創造や発信など文化芸術活動を支援するため、愛知県や周辺自治体・ホールとの連携など、様々な主体との機能分担と連携による鑑賞機会の充実を図る

c) 情報発信力の強化

市民が様々な文化情報を取得できるよう、一元的に情報を収集し、利用目的を踏まえて編集し、多様なメディアやイベントを利用して広く発信する

1 名古屋市の上位計画について

(1) 名古屋市文化振興計画2020

②文化振興の基本的な考え方

イ) 文化力 文化芸術を活かしたまちづくり

a) 社会的課題の解決への活用

文化芸術の持つ力を市民力・地域力の育成や社会的課題の解決に結びつけるため教育、福祉、地域の活性化やコミュニティの形成・再生に文化芸術を活用し文化小劇場を活用したまちづくり事業を通じて様々な主体と連携して取り組む

b) 文化芸術を活用した都市空間の形成

公演やイベントの開催によって、まちや場の持つ雰囲気など空間の力を活用するとともに、そのような場の創出を促進するため、都市のデザイン性を高め、文化的な雰囲気を持つ良好な景観づくりを図り都市整備に合わせた民間施設への文化的機能の導入、イベント等に活用できる広場や空間の整備などに取り組む

(名駅、栄、金山駅地区などのまちづくりにおける広場や公共的空間の創出・活用)

ウ) 基盤 確かな文化基盤をつくる

a) 文化芸術を享受する機会の充実

気軽に文化施設へ出向くことができる機会づくりや文化小劇場等を拠点とした継続的なアウトリーチ活動など身近な場所で様々な文化に出会うことができる機会の充実を図る

b) 文化施設の管理・運営

文化施設は、文化の創造発信の拠点であり、市民の文化活動や生涯学習活動の場であるため、社会的課題に取り組む拠点として各施設の設置目的を達成し、効果的な管理・運営を行うため、明確な運営方針を設定する

1 名古屋市の上位計画について

(2) 名古屋市総合計画2023を踏まえた本市における文化振興の考え方

①少子化・高齢化に伴う人口構造の変化

- ・人口の自然減（出生－死亡）が緩やかに進むなか、他地域からの転入など社会増が自然減を上回っており、将来的に自然減が社会増を上回ることが推計されるため、人口の社会増に向けた取組みが求められる。
- ・社会的な人口増を支える20～24歳の転入数を増やすには、雇用の創出とともに芸術文化をはじめとするエンターテインメントの充実が、選ばれる大都市に不可欠な魅力向上につながるものである。

②価値観・ライフスタイルの多様化

- ・価値観やライフスタイルが多様化するなか、家族や世帯のあり方は変化し、単身世帯の増加や人と人とのつながりの希薄化は、地域社会のコミュニティ機能を低下させ文化や社会慣習の異なる外国人住民の増加も状況を複雑化させている。
- ・多様性（ダイバーシティ）を重視し、誰もが一人ひとりの個性や多様な価値観・生き方を認め合い、安心して生活し地域で支え合い活躍できる環境づくりが求められている。

1 名古屋市の上位計画について

(2) 名古屋市総合計画2023を踏まえた本市における文化振興の考え方

③リニア中央新幹線の開業に伴う変化

リニア中央新幹線の全線開業により名古屋駅を起点に2時間以内で到着できるエリア人口は約6400万、品川駅の6200万、新大阪駅の4800万を上回ることから名古屋駅が一大交流拠点として期待されている。しかし、開業後に本市の優位性を最大限に活かすことができれば人口、経済活動が東京、大阪に吸い取られる「ストロー現象」が現実化する危険性がある。

④交流人口の増加

人口の大幅な伸びが期待できないなか、都市の活力を維持・向上していくためには、仕事や観光で訪れる旅行者など、交流人口の増加を図り都市の活性化につなげることが不可欠である。

しかし、愛知県の訪日外国人訪問率は、東京や大阪京都を大きく下回っており、アジアをはじめとする世界の人々との交流を一層拡大するとともに市民のまちへの愛着や誇りを高めるなど都市魅力の向上・発信を進めていくことが必要である。

2 「新たな劇場」の方向性について

2 「新たな劇場」の方向性について

(1) 市民会館の位置づけと現状

【設置条例】

「芸術文化の振興及び市民福祉の向上を図る」

【施設の役割（「名古屋市文化振興計画2020」より）】

- a 優れた文化芸術公演の鑑賞の場
- b 市民の文化活動・発表の場
- c 地域の賑わいを創出する場

【他施設との連携（「名古屋市文化振興計画2020」より）】

「コミュニティの形成・再生に文化芸術を活用し、文化小劇場を活用した街づくり事業を通じて様々な主体と連携して取り組む」



現状

○ 劇場不足が文化芸術にもたらす様々な弊害

- ・ 市民の鑑賞機会の損失、実演芸術に対する関心の希薄化
- ・ 発表の場を確保できず地元文化団体の活動継続が困難に
- ・ 市外へのホール需要の流出、名古屋公演等の開催中止

○ 施設運営上の課題

- ・ 施設の設置目的と利用実態のかい離、ホール間の連携不足
- ・ 都市経営・都市魅力の向上と文化芸術の連動性

2 「新たな劇場」の方向性について

(2) 現位置付けと現状のかい離

現位置づけと現状のかい離

- ア) 劇場不足により、**市民に魅力ある実演芸術を鑑賞する機会が提供できていない**
- イ) 設備の老朽化等により、市民会館に対する**実演家・主催者等の評価が低下している**
- ウ) 貸館需要が高く、**自主事業を実施する空き日がない**
- エ) 舞台設営やリハなど本番公演のない時間は、施設内が閑散としており、**閉ざされた雰囲気がある**
- オ) 指定管理者制度の弊害により、各劇場間の連携による**全市的な管理運営体制が構築できていない**
- カ) 集会施設的な利用が多く、**文化施設である市民会館のイメージが市民に定着していない**
- キ) 市民会館等の受付方法に課題があり、**他施設との役割分担を促す仕組みが構築できていない**



これらのかい離を埋めるための…

- **新たな劇場の「課題解決に向けた整備・事業運営の方針」**
- **新たな劇場が目指す姿**

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

① 国内外から注目され、市民の誇りと親しみを呼び起こす劇場

- ア) 国内外から多くの人々が訪れたいとなる劇場を実現することで、**市民の誇りを呼び起こす**
- イ) 劇場不足を解消し、より多くの公演を提供できるように、文化芸術の「場」を増設・拡張
(**第3のホールの増設**)
- ウ) 最新機能/設備を有し、将来の需要変化にも対応可能な**拡張性を持つ劇場**とすることで、**新劇場の魅力**を長期にわたり持続
- エ) 利用者/来場者の快適性向上に不可欠な**ユニバーサルデザイン**の導入等
- オ) 多様なニーズに対応可能な設備の規模/機能の拡充

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

“まちに開かれた劇場” 例

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

自然風景を取り込む、開放的な緑あふれる憩いの空間をもつ劇場。
6つの空中庭園には、野外舞台が備わり、人々が交わる憩いの場となっている。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

茅野市民館

建設計画から市民が直接参加してつくられた、駅直結の、まちと繋がる劇場。
中庭、館入口の東広場は開放的空間として、イベントにも使用される。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

北上市文化交流センター さくらホール

大中小3つのホールと市民の芸術活動をサポートする「アートファクトリー」から構成。
ホールに人々が集い、日常生活の中で遊べる施設を実現。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

② より多くの人々が劇場に訪れる“きっかけ”となる公演の実施

- ア) **話題性**のある公演、**ハイレベル／最先端**のステージを名古屋でも観られるような劇場運営・誘致を目指すことで、より多くの**市民が劇場に通いたいと思える**環境をつくり、**文化芸術への興味の裾野を拡大**
- イ) 市民が日常的に訪れ、居場所となる**“まちに開かれた劇場”**とするため**開放感のある居心地の良い空間**を創出
- ウ) 名古屋の多様な文化的背景を念頭に、**あらゆる文化芸術を取り入れた魅力的で幅広い事業**を展開
- エ) 名フィルなど地元文化団体との協働による**名古屋ならではの公演**を発信
- オ) 愛知県芸術劇場と**役割を分担**した事業の実施
- カ) 専門的人材を配置し、**主体的で魅力ある事業**を展開することで**集客力の高い施設運営**を実現

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

■ ハイレベル／最先端・名古屋ならではの公演例

人々が劇場に訪れるきっかけを呼び起こす 話題性のある演目例

- ・エレファントカシマシ30周年記念コンサート
- ・落合陽一×日フィル「耳で聴かない音楽会」

著作権保護のため写真の掲載
を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載
を割愛しております。

名古屋フィルハーモニー交響楽団など 地元文化団体との協働による公演

- ・名古屋フィルハーモニー管弦楽団



将来の需要変化にも対応可能な最新 機能／設備例

- ・キネティックライティング
(ワイヤーでLED電球が吊され、個別にコンピューター
制御されるライティングシステム)
- ・映像演出、プロジェクションマッピング

著作権保護のため写真の掲載
を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載
を割愛しております。

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

③ 市民の文化芸術活動を支え、発表の機会を生み出す環境づくり

- ア) 名古屋市内に多数ある**文化施設が有機的に連携**し、名古屋市に**文化芸術を普及**させ、**文化力の底上げ**を実現する取り組み
- イ) 市内の**市民文化活動を活性化**させ、その集大成を披露する**晴れの舞台**としての劇場の存在感を醸成
- ウ) 充実した文化芸術活動**サポート体制の構築**
- エ) オープンスペースを活用した**文化芸術が身近に感じられるプログラム**等の実施

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

■ 市民活動の活性化・文化芸術が身近に感じられるプログラム 例

ミュージア川崎シンフォニーホール

市民のハレの場を演出する「ミュージア川崎市民合唱祭」や、気軽に、様々な音楽を楽しめる「フェスタサマーミュージア KAWASAKI」等を実施

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

東京文化会館

コンサートホールとは一味違った様々な空間、まちなかで気軽に楽しむクラシックを楽しめる「まちなかコンサート」を実施

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

日本フィルハーモニー交響楽団

音楽の魅力をさまざまな角度から発見し、楽しみ方を広げる「音楽創造ワークショップ」を中心とした体験型エデュケーション・プログラム

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

④ 人と文化芸術が盛んに行き交う 当地域を代表する文化交流拠点

- ア) 地域の文化芸術団体との連携等により、**日常的にまちに文化芸術があふれる、賑わい空間**を創出
- イ) あらゆる人や文化芸術を引き寄せる、**引力を持ったまちづくり**の拠点機能
- ウ) 人と文化芸術がホールとまちを垣根なく行き交い、**まち全体に文化芸術による賑わい**を醸成
- エ) まちの回遊性が促進され、**まちの魅力を増幅させる取り組みのハブ**としての役割

2 「新たな劇場」の方向性について

(3) 課題解決に向けた整備・事業運営の方針

■ まち全体の文化芸術による賑わい 例

アンサンブルズ東京

大友良英のディレクションによる、参加したすべての人が、自分たちの手で新たな音楽の場を作り上げる、音楽祭。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

六本木アートナイト

六本木の街に、アート作品、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験を創出

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

著作権保護のため写真の掲載を割愛しております。

やっとかめ文化祭

名古屋全体を会場にして、80余りの多彩なプログラムを開催することにより、まちの多様な「物語」と「文化」を再生し、その魅力を再発見・発信する大規模な文化祭



3 新たな劇場を目指す姿について（これまでの検討内容を踏まえて）

- 3 新たな劇場を目指す姿について（これまでの検討内容を踏まえて）
（1）新たな劇場のミッション・位置づけ

①ミッション

文化芸術の裾野拡大（劇場文化の浸透）

②位置づけ

「国内外から注目され、市民の誇りと親しみを呼び起こす劇場」となるために

人々が楽しみ、引き込まれ、感化される
文化の香り高い名古屋の心つながる象徴拠点

- 文化と心のランドマーク施設となる
- “文化芸術が活きるまち名古屋”の中核拠点となる
- 実演者、鑑賞者だけでなく市民にとって“名古屋の誇り”となる

3 新たな劇場を目指す姿について（これまでの検討内容を踏まえて）
（2）新たな劇場に求められる役割

③役割

「より多くの人々が劇場に訪れる”きっかけ”となる公演」を実施するために

**ポップからハイカルチャーまで、より多くの
人々が興味を引き起こされる公演の上演施設**

- 人々の興味を誘発する話題性のある演目を誘致して劇場に訪れるきっかけを創出することで、劇場への親近感を醸成する
- 多様な演目に触れる機会を提供することで、人々が文化芸術への幅広い興味を誘発され、頻繁に訪れたいとなる施設となる
- 専門的人材を配置し、主体的に魅力ある事業を実施する

3 新たな劇場を目指す姿について（これまでの検討内容を踏まえて）
（2）新たな劇場に求められる役割

「市民の文化芸術活動を支え、発表の機会を生み出す場」となるために

**市民の多様な文化活動を促進する、
名古屋発／初文化の中核となる施設**

- 名古屋文化の発展育成の拠点となり、市民とともに名古屋発/初の文化芸術を発信・集積する
- 市民の様々なジャンルの文化芸術活動に対応し、魅力ある“ハレの場”をつくる

3 新たな劇場を目指す姿について（これまでの検討内容を踏まえて）
（2）新たな劇場に求められる役割

「人と文化芸術が盛んに行き交う、当地域を代表する文化交流拠点」となるために

**市民が気軽に訪れる、人と文化の交流結節拠点
～ 感動と出会い、まちと繋がる、開かれた劇場 ～**

- 日常的に多様な人々が集い、賑わいを生み出す、新たな交流拠点となる
- “いつでも、誰でも、何かを経験できる”魅力的な空間や機会を提供する
- 居心地が良く、一日中過ごしたくなる、市民の快適な居場所となる

